

組合員の作品



押し花アート
成田西支部 山根 信子



木目込みパッチワーク
みい西支部
茶畑 麗子



小物
門真西支部のみなさん



編集委員会より

今月の「けいはん医療生協ニュース」は、生協強化月間突入の思いをこめて、フルカラーでお届けします。組合員の皆様の感想などお寄せいただければ幸いです。

短歌

老人会 漢字思はず書いてみる 算数指折り回答を書く

守口東支部 山城 久子

初投稿掲載されたる我が短歌新聞紙色褪せ六十年経つ

門真中央支部 兵頭 克己

ふるさとの姉の危篤を知らせ来る電話に蝉の鳴き声をきく

みい支部 稲原 一枝

用件を済ませばガチャんと電話切るやれやれ祖母の仕草に似る母

守口さつき南支部 酒井八重子

ダイオキシンの、道路公害、廃プラ病 書いてきたピラを仕分けする我

あいあい支部 長野 晃

平和憲法を作った男 ⑤

映画「しではら」かどま出身の総理大臣を追う



映画「しではら」のエンディング

映画「しではら」のエンディングは、昭和22年5月3日に施行された日本国憲法について、当時の文部省が中学1年生用教科書として発行した「あたらしい憲法のはなし 戦争の放棄」の一文を少女が紹介します。その内容です。

◇ ◇

皆さんの中には今度の戦争に、お父さんやお兄さんを送り出された人も多いでしょう。ご無事にお帰りになつたでしょうか。それともとうとうお帰りにならなかつたでしょうか。また、空襲で家やうちの人をなくされた人も多いでしょう。今、

やっと戦争は終わりました。

二度とこんな恐ろしい、悲しい思いをしたくないと思いませんか。こんな戦争をして、日本の国はどんな利益があったのでしょうか。何もありません。ただ、恐ろしい、悲しいことがたくさん起こつただけではありませんか。そこで、今度の憲法では、日本の国が決して二度と戦争をしないように、二つのことを決めました。

一つは、よその国と争いごとが起こつた時、決して戦争によって相手を負かして、自分の言い分を通そうとしないということを決めたのです。穏やかに相談をして、決まりをつけようというのです。これを「戦争の放棄」というので

そうしてよその国と仲良くして、世界中の国が良い友だちになつてくれるようにすれば、日本の国は栄えてゆけるのです。

みなさん、あの恐ろしい戦争が、二度と起こらないように、また、戦争を二度と起こさないようにいたしましょう。

◇ ◇

今から70数年前には子どもたちにこんなことを教えていたのです。それが今では、「戦争をする国」をつくらうとしています。子ども達のためにも憲法を守らなければなりません。

映画「しではら」プロデューサー

理事長 戸田 伸夫



願得寺にある幣原と尊父の墓 (左が幣原)

兵隊も軍艦も飛行機も、およそ戦争をするためのものはいつか持たないとい